

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容 又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			人数や活動によって棚を動かし、保育スペースを調整している。	
	2	職員の配置数は適切であるか	○			活動によって職員を増やしている。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			室内は掲示物を最小限にし、視覚からの刺激を減らしている。 棚で仕切りをし、保育室への動線を分かりやすくしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			室内は毎日掃除機をかけ、ゴミ袋を新しく入れ替えている。 玄関回りや散歩道もゴミがあれば拾うようにしている。	玄関回りに生えている草や落ち葉は、自然物としてあそぶ利用児もいることも考え取らずにいるが、清潔という面では不十分かもしれない。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			日々、保育終了後の振り返りにおいて、職員間で気になることを出し合い改善に努めている。 月一回全職員が参加する会議を設けている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			職員間で話し合い、改善に努めている。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページに掲載	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在行っていない。	保護者等からの事業所評価で頂いたご意見を参考に業務改善を行ってきたい。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			外部研修に参加し、研修報告を行っている。 内部研修を月一回行っている。	
適切な 支援の 提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	アセスメントツールは使用していないが、アセスメントでは親子間の様子を観察した上で、その子の背景などの聞き取りをしている。	
	12	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○				
	13	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	○				
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			月一回の定例会議や、必要に応じてその都度話し合っている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			活動の見通しが持てるよう大まかな流れは固定しているが、玩具、製作の内容など子どもの様子で変えている。 季節に応じた活動（プールや散歩）、行事（運動会や遠足など）を行っている。	
	16	（放課後等デイサービスのみ）平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	/	/	/		
	17	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか			○	集団療育の場であるため、個別活動は行っていない。	
	18	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			その日のリーダーが主になり日案をもって行う。 子どもや保護者の様子を申し送りもしている。	
19	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			その日のリーダーが主になり話し合いを行い、子どもや保護者の様子を話している。		

	20	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	21	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に一回見直しをしている。
	22	(放課後等デイサービスのみ) ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	/	/	/	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか			○	利用者がセルフプラン対象者であるため、相談事業所を利用している人がいない。
	24	(児童発達支援のみ) 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			法人内の子育て支援施設や、事業所主催のつどいの日を利用していただ人も多い。保健センターと年一回協議を行い、その他必要に応じて情報共有をしている。
	25	(放課後等デイサービスのみ) 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	/	/	/	
	26	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	/	/	/	
	27	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	/	/	/	
	28	(児童発達支援のみ) 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			4～5月に卒所児を対象に就園先の児童発達支援センター、保育所、幼稚園へ申し送りを行っている。
	29	(児童発達支援のみ) 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか			○	対象者がいない。
	30	(放課後等デイサービスのみ) 就学前に利用していた保育所や認定こども園、幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	/	/	/	
	31	(放課後等デイサービスのみ) 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	/	/	/	
	32	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			児童発達支援センターや他事業所に研修として見学に行った。
	33	児童発達支援の場合は、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は、放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			法人主催の秋祭り、法人内の子育て支援施設主催の鑑賞活動に参加した。また地域の神社のお祭りやお餅つきに参加する機会があった。
	34	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			
	35	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか			○	子どもの発達状況や課題を伝え、共通理解を持つよう努めている。
36	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか			○	外部から講師を招き、発達についてなど講演会を開催している。交流会などを企画し、親同士がつながり合うピアサポートが中心。	
37	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に必ず説明している。	
38	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の同意を得ているか	○				
39	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			契約時と半年に一回の個人懇談だけでなく、適宜、相談に応じている。	

保護者への説明責任等	40	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			保護者向けの学習会（交流会）や行事を通じての交流の機会を設けている。開放日を設け、保育室を開放し、保護者同士の交流の場にもなっている。卒所した利用者の交流の場として保育室を提供している。		
	41	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○					
	42	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○				お便りを月一回発行、保育室に掲示、保護者に配布している。 満三歳児の分離保育後は、当日の保育内容を写真で見てもらいながら子どもの様子を伝えている。	
	43	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○				重要書類は鍵付きの引き出しに保管。個人情報が記載されている書類は、使用后シュレッダーで廃棄。保護者から知り得た情報を他の保護者などに伝える場合は、事前に了承を得るようにしている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○					
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っているか	○				地域のお祭りに参加したり、地域の中学校の美術部にペープサートの作成をお願いした。	
非常時等の対応	46	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○					
	47	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○				水害、火災、地震の防災訓練は定期的に行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○				契約時に生育歴、既往歴、服薬、てんかん発作、アレルギーの状況を確認している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされているか	○		○		アレルギーの有無を確認している。保護者からの聞き取りでクッキングや昼食時のアレルギー対応をしている。	
	50	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○					
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				外部研修に参加後、内部研修を行っている。	
52	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に記載しているか			○		身体拘束を行うことはないが、怪我や事故につながらないよう、飛び出しなどの際には止めることもあると伝えている。		